

平成25年3月期  
決算補足説明資料  
(連結)

平成25年5月14日

# 目次

## 平成25年3月期 連結業績

中期経営方針「事業構造改革」の概要	… 4
事業構造改革による損益構造の変化	… 5
事業構造改革の推進状況と当期経営方針	… 6
事業構造改革の進捗状況	… 7
損益計算書	… 8
サービス別売上高	… 9
営業費用	…10
損益計算書(四半期推移)	…11
サービス別売上高(四半期推移)	…12
営業費用(四半期推移)	…13
貸借対照表	…14
キャッシュ・フロー	…15

## 平成26年3月期 連結業績予想

経営方針	…17
平成26年3月期 業績予想(通期)	…18
サービス別売上高予想(通期)	…19
営業費用予想(通期)	…20
お問い合わせ	…21
<b>補足資料</b>	
平成26年3月期 業績予想(半期別)	…23
サービス別売上高予想(半期別)	…24
営業費用予想(半期別)	…25
業績及び経営指標の推移	…26
株主構成	…27

# 平成25年3月期 連結業績

# 中期経営方針「事業構造改革」の概要

## 中期経営方針

新商材クラウドパッケージの販売開始を機に実行する  
当社グループの「**事業構造改革**」の推進

### 事業構造改革

安定したストック型ビジネスへの転換に向けた改革

### ビジネスモデル改革

主力商材変更により、  
ビジネスモデルをフロー型からストック型へ転換

### 損益構造改革

収益及びコストの両面から構造改革に取り組み、  
損益構造を数年間で抜本的に改革

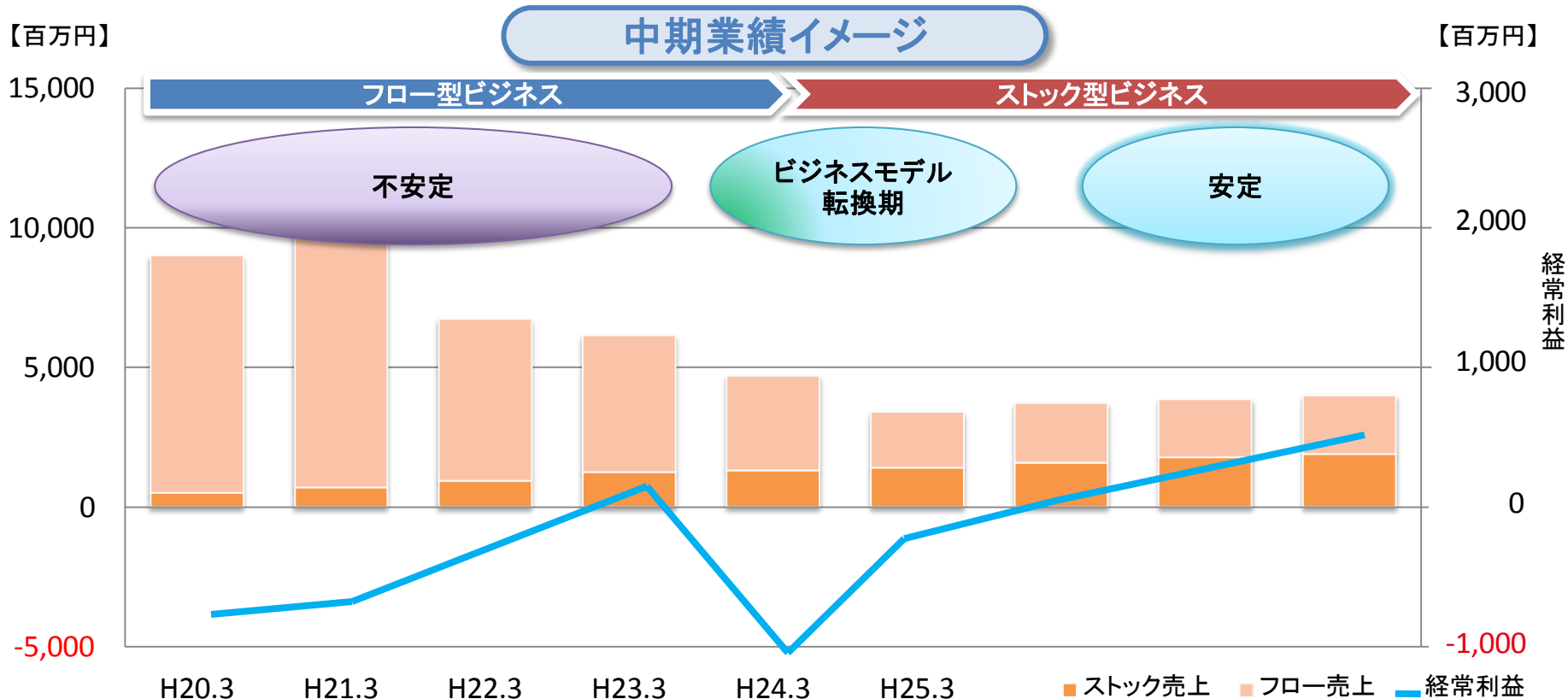
### 収益構造改革

ストック型ビジネスへの転換により、  
中期安定的な収益構造へ転換

### コスト構造改革

営業費用(売上原価及び販管費)の最適化により、  
コスト構造を改善

# 事業構造改革による損益構造の変化



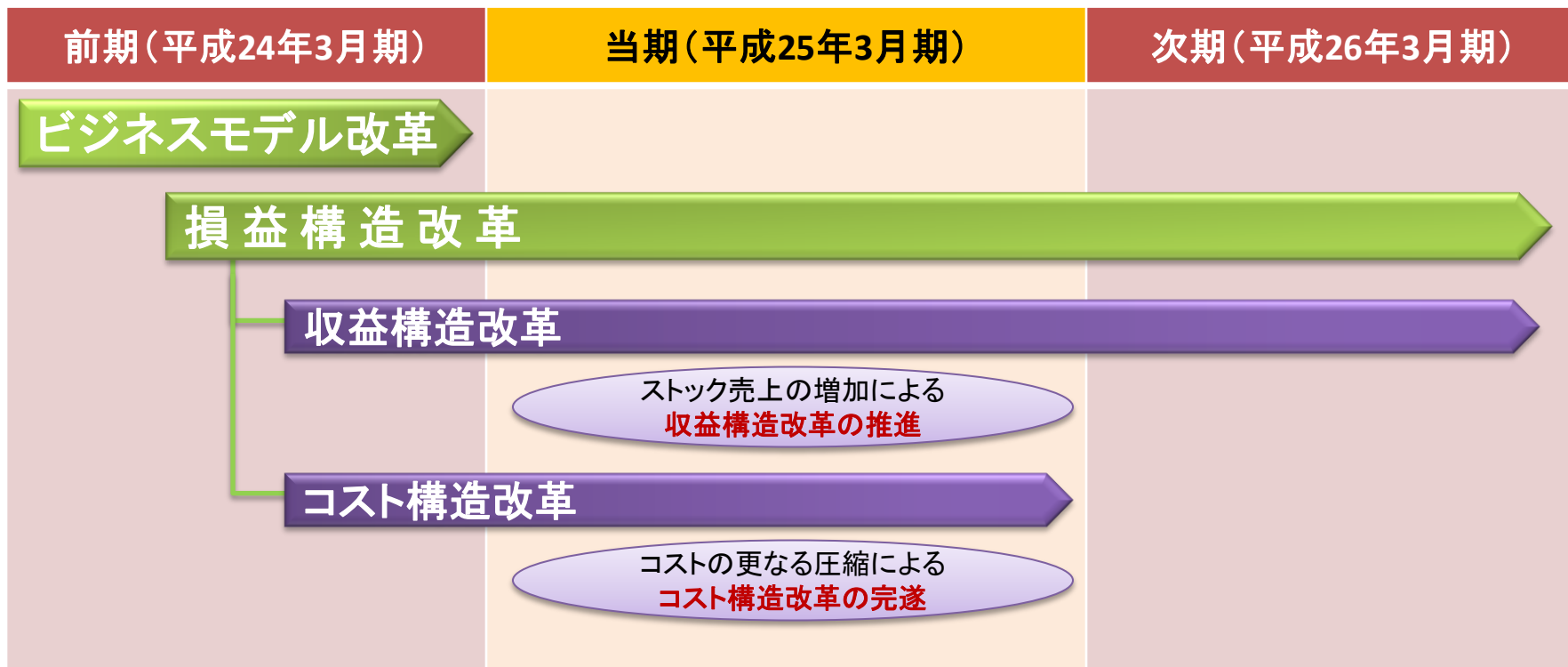
## 売上高(中期業績イメージ)

ストック型ビジネスへの転換期において、**一時的に減少** その後はストック売上が積み上がり、**安定成長**

## 経常利益(中期業績イメージ)

売上高減少期において、**短期的に赤字を計上** その後は売上高の成長に合わせて**安定的に利益確保**

# 事業構造改革の推進状況と当期経営方針



## 当期経営方針

安定したストック型ビジネスへの転換に向けた**基盤構築の完了**

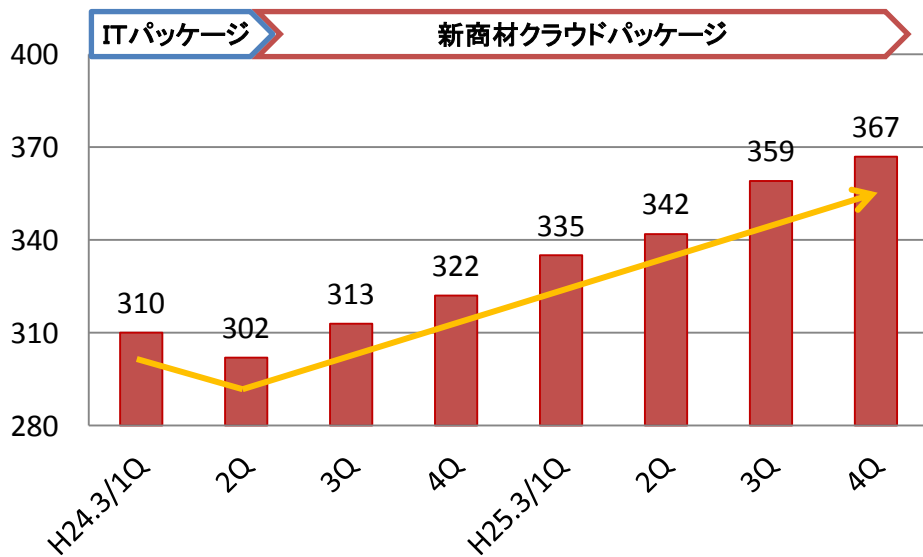
# 事業構造改革の進捗状況

## 収益構造改革

新商材の契約アカウント数の増加等により、  
**第4四半期のストック売上は、  
 前期の第4四半期比で44百万円増加**

### ストック売上推移

【百万円】

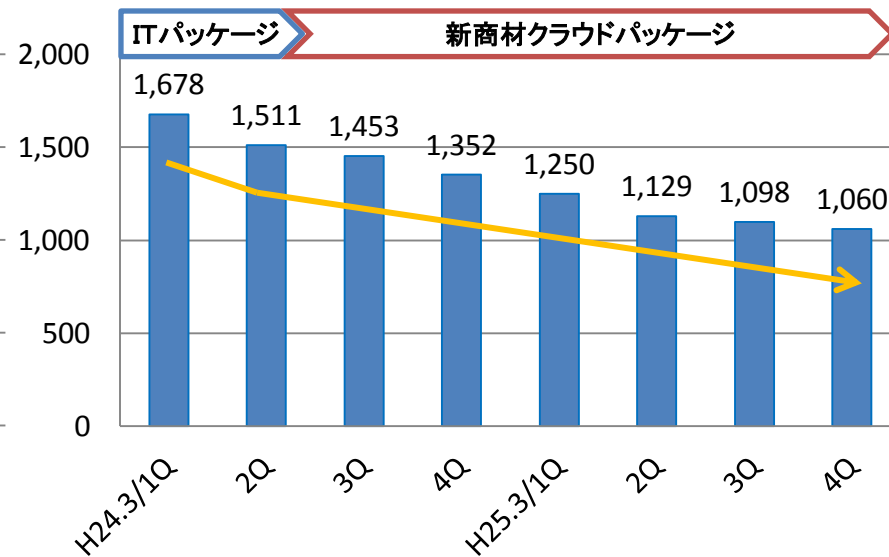


## コスト構造改革

コスト最適化の推進等により、  
**第4四半期の営業費用は、  
 前期の第4四半期比で291百万円減少**

### 営業費用

【百万円】



# 損益計算書

ビジネスモデル転換等により、**売上高は減少したものの、**  
**営業費用の大幅な圧縮により、損失は大幅に縮小**

【単位:百万円】	H24.3 通期累計 (実績)	売上比	H25.3 通期累計 (実績)	売上比	対前期 増減率	対前期 差額
売上高	4,851	100.0%	4,121	100.0%	△15.0%	△730
売上原価	1,559	32.1%	1,136	27.6%	△27.1%	△422
売上総利益	3,292	67.9%	2,984	72.4%	△9.4%	△307
販管費	4,437	91.5%	3,402	82.5%	△23.3%	△1,035
営業利益(△損失)	△1,144	△23.6%	△417	△10.1%	—	+727
経常利益(△損失)	△1,050	△21.7%	△229	△5.6%	—	+820
当期純利益(△純損失)	△1,367	△28.2%	△264	△6.4%	—	+1,103

- » ビジネスモデル転換による影響等により、**売上高は15.0%減少**
- » コスト圧縮の進展等により、**営業費用は24.3%減少**
- » 結果、減収となったものの、コスト圧縮効果が上回ったため、**営業利益及び経常利益は損失が大幅に縮小**
- » 経常損失の縮小に加え、前期のような特別損失の発生がないため、**当期純利益は損失が更に縮小**



# サービス別売上高

ビジネスモデル転換等により、**ホームページソリューションが大幅に減少**  
IT支援はほぼ前期と同水準

【単位:百万円】	H24.3 通期累計 (実績)	構成比	H25.3 通期累計 (実績)	構成比	対前期 増減率	対前期 差額
ホームページソリューション	4,170	86.0%	3,407	82.7%	△18.3%	△763
ストック売上	1,249	25.8%	1,404	34.1%	+12.3%	+154
フロー売上	2,920	60.2%	2,003	48.6%	△31.4%	△917
IT支援	681	14.0%	714	17.3%	+4.8%	+32
売上高	4,851	100.0%	4,121	100.0%	△15.0%	△730

※1:ホームページソリューションは、旧商材ITパッケージと新商材クラウドパッケージの売上高を示します。

※2:ストック売上は、サービス料(月額課金)の売上高を示します。(前期及び当期ともに、旧商材と新商材の売上です。)

※3:フロー売上は、初期導入費用(導入初月に一括計上)の売上高を示します。(前期は、旧商材と新商材の売上です。当期は、新商材の売上です。)

※4:IT支援は、ヤフー商材、WEB広告、WEB制作及びその他の売上高を示します。

- » ストック売上の比率の高い新商材の契約顧客アカウント数の増加等により、**ストック売上は12.3%増加**
- » 前期の第2四半期の途中までは、ストック売上と相反するフロー売上の比率の高い旧商材を販売していた影響等により、**フロー売上は31.4%減少**
- » 結果、ストック売上は増加したものの、フロー売上の減少幅の方が大きいため、**売上高は15.0%減少**

# 営業費用

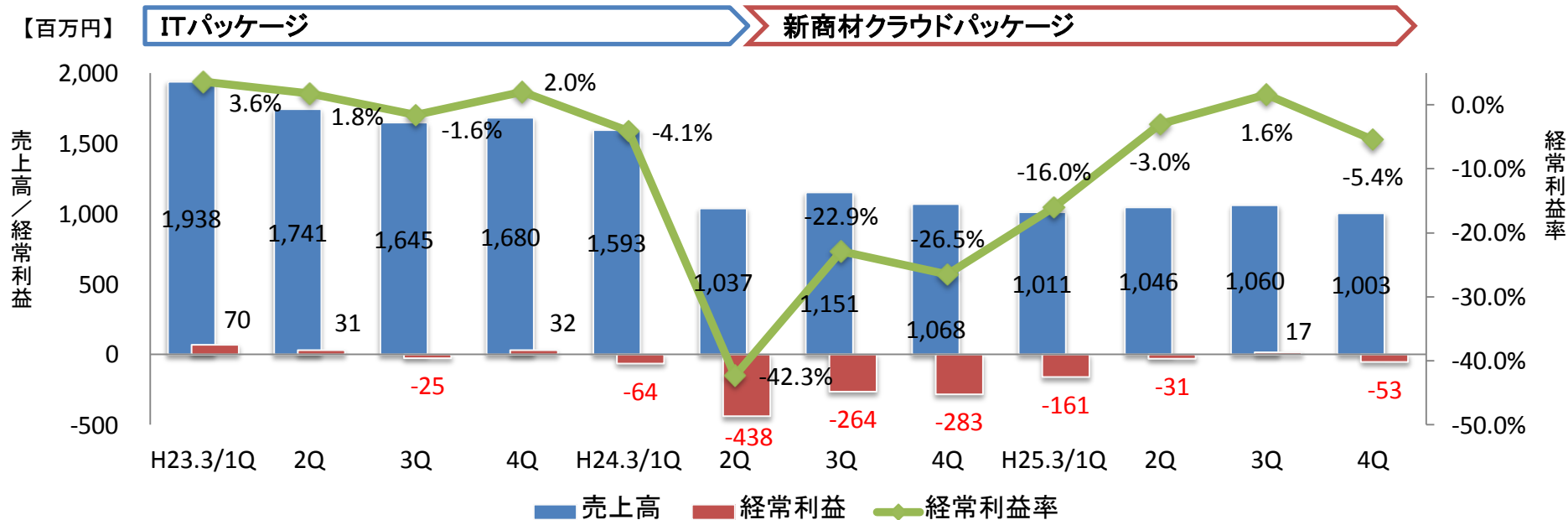
主力商材の切り替え等により、**売上原価が大幅に減少**  
 コスト圧縮の進展により、**販管費も大幅に減少**

【単位:百万円】	H24.3 通期累計 (実績)	売上比	H25.3 通期累計 (実績)	売上比	対前期 増減率	対前期 差額
売上原価	1,559	32.1%	1,136	27.6%	△27.1%	△422
人件費	2,896	59.7%	2,144	52.0%	△26.0%	△751
地代家賃	255	5.3%	236	5.7%	△7.4%	△18
旅費交通費	194	4.0%	208	5.0%	+7.1%	+13
その他販管費	1,090	22.5%	812	19.7%	△25.5%	△278
販管費	4,437	91.5%	3,402	82.5%	△23.3%	△1,035
営業費用	5,996	123.6%	4,538	110.1%	△24.3%	△1,457

- » 前期における主力商材の自社開発商材への切り替えによるコスト抑制効果が通年で発揮されたこと等により、**売上原価が27.1%減少**
- » 前期のコスト圧縮効果が通年で発揮されたこと、当期におけるコスト圧縮の進展により、**販管費が23.3%減少**
- » 結果、**営業費用は24.3%減少**

# 損益計算書(四半期推移)

営業外収益の減少と売上高の減少等により、  
**経常損益が前四半期比で悪化**

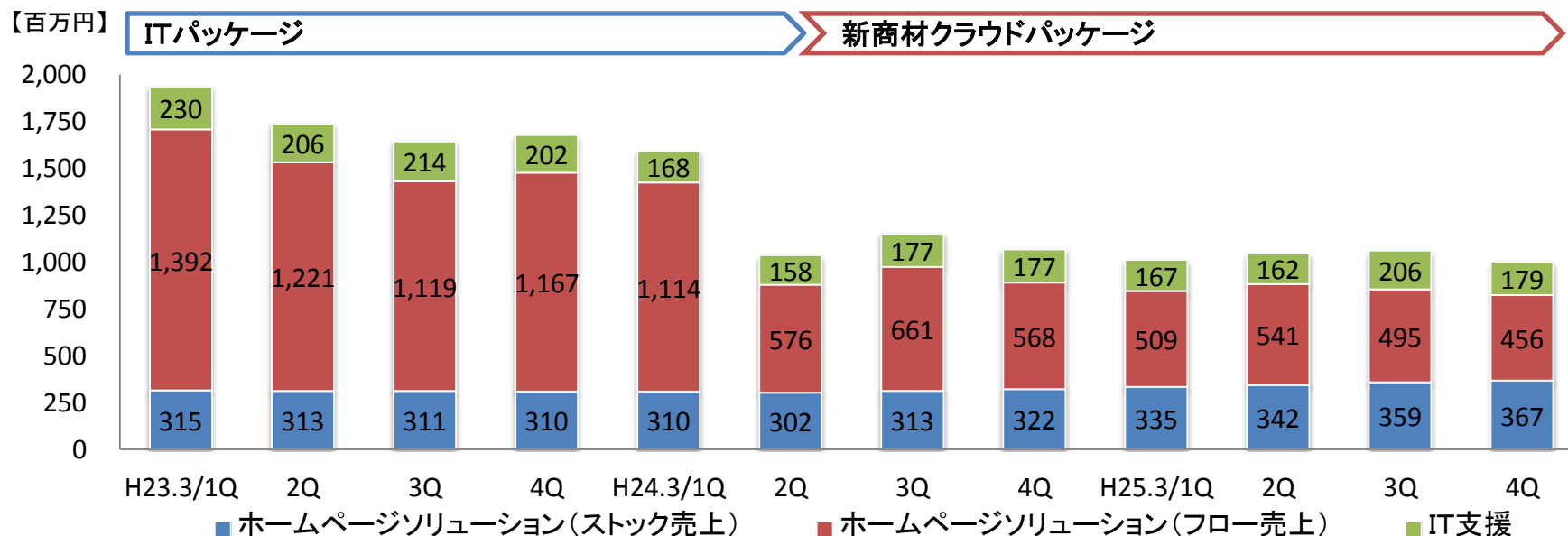


第4四半期の状況 (前四半期比較)

» **営業外収益の減少**に加え、**売上高が5.5%減少**したこと等により、**経常損益が悪化**

# サービス別売上高(四半期推移)

ストック売上は増加したものの、フロー売上とIT支援の減少により、**売上高が前四半期比で減少**



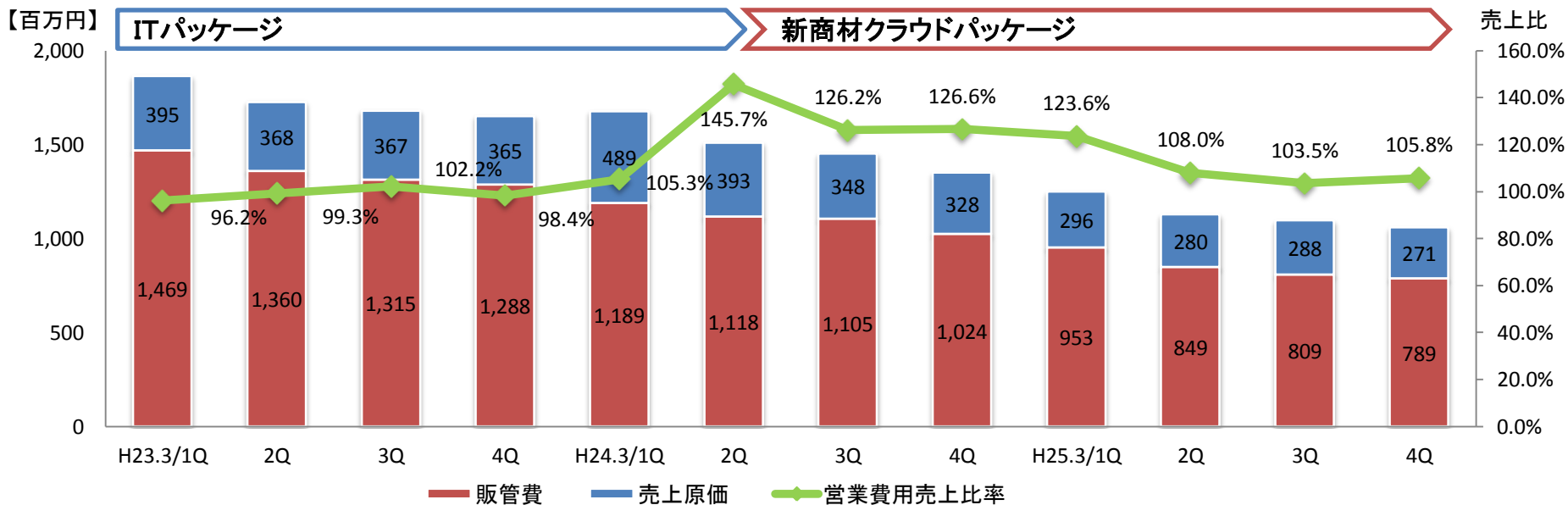
## 第4四半期の状況 (前四半期比較)

- » ストック売上の比率の高い新商材の契約顧客アカウント数の増加等により、**ストック売上は2.3%増加**
- » 不透明な景況感の影響等により、**フロー売上が7.8%減少**
- » 結果、季節要因等により、**IT支援も13.2%減少**したため、**売上高は5.5%減少**

# 営業費用(四半期推移)

ローコスト・オペレーションの継続推進等により、  
営業費用は前四半期比で減少

営業費用	1,865	1,728	1,682	1,654	1,678	1,511	1,453	1,352	1,250	1,129	1,098	1,060
売上比	96.2%	99.3%	102.2%	98.4%	105.3%	145.7%	126.2%	126.6%	123.6%	108.0%	103.5%	105.8%



第4四半期の状況（前四半期比較）

- » 売上高の減少等により、**売上原価が6.0%減少**
- » ローコスト・オペレーションの継続推進等により、**販管費が2.5%減少**
- » 結果、**営業費用は3.4%減少**

# 貸借対照表

短期借入金の返済等により、**流動資産及び流動負債が減少**  
 当期純損失の計上等により、**純資産が減少**

【単位:百万円】	H24.3末	構成比	H25.3末	構成比	対前期末 増減率	対前期末 差額
流動資産	2,657	63.5%	1,708	56.3%	△35.7%	△949
固定資産	1,530	36.5%	1,323	43.7%	△13.5%	△206
<b>資産 合計</b>	<b>4,187</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,032</b>	<b>100.0%</b>	<b>△27.6%</b>	<b>△1,155</b>
流動負債	1,784	42.6%	882	29.1%	△50.5%	△901
固定負債	3	0.1%	3	0.1%	0%	±0
<b>負債</b>	<b>1,788</b>	<b>42.7%</b>	<b>886</b>	<b>29.2%</b>	<b>△50.4%</b>	<b>△901</b>
<b>純資産</b>	<b>2,399</b>	<b>57.3%</b>	<b>2,145</b>	<b>70.8%</b>	<b>△10.6%</b>	<b>△254</b>
<b>負債・純資産 合計</b>	<b>4,187</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,032</b>	<b>100.0%</b>	<b>△27.6%</b>	<b>△1,155</b>

- » 借入金の返済等による**現金及び預金の減少**等により、**流動資産は減少**
- » **ソフトウェアの減少**等により、**固定資産も減少**
- » **短期借入金の減少**、買掛金及び未払金の減少等により、**流動負債は減少**
- » 当期純損失の計上等による**利益剰余金の減少**等により、**純資産は減少**

# キャッシュ・フロー

短期借入金の返済、システム移行費用の支払、無形固定資産の取得等により、**現金及び現金同等物の残高が減少**

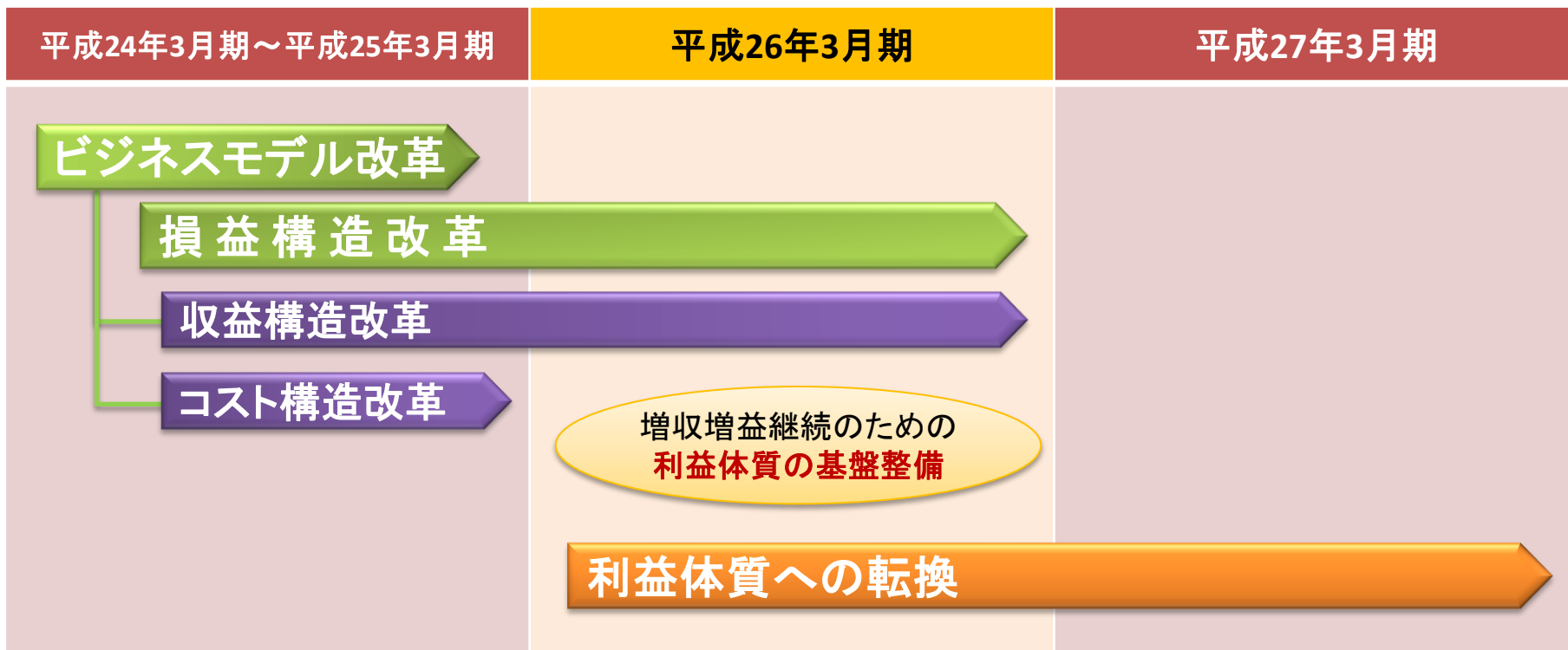
【単位:百万円】	H24.3 累計	H25.3 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	△897	△110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△676	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	503	△499
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△1,069	△742
現金及び現金同等物の期末残高	2,066	1,323

- » システム移行費用の支払等により、**営業CFはマイナス**
- » **新商材の開発推進**等による無形固定資産の取得等より、**投資CFはマイナス**
- » **短期借入金の返済**等により、**財務CFはマイナス**
- » **結果、現金及び現金同等物の残高は減少**

# 平成26年3月期 連結業績予想



# 経営方針

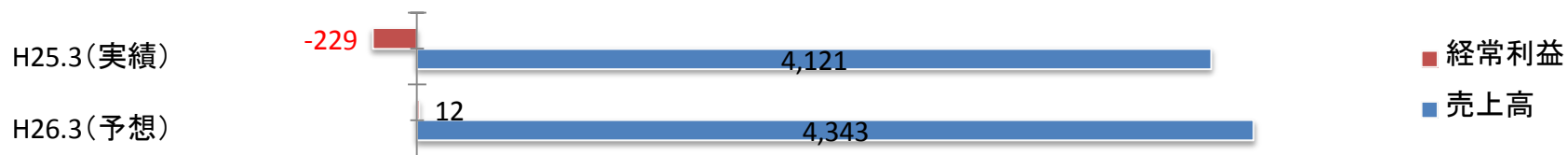


## 経営方針

事業構造改革の完遂と利益体質への転換

# 平成26年3月期 業績予想(通期)

【単位:百万円】	H25.3通期 (実績)	売上比	H26.3通期 (予想)	売上比	対前期 増減率	対前期 増減額
売上高	4,121	100.0%	4,343	100.0%	+5.4%	+221
売上原価	1,136	27.6%	1,109	25.5%	△2.4%	△27
売上総利益	2,984	72.4%	3,234	74.5%	+8.4%	+249
販管費	3,402	82.5%	3,229	74.3%	△5.1%	△172
営業利益(△損失)	△417	△10.1%	5	0.1%	—	+422
経常利益(△損失)	△229	△5.6%	12	0.3%	—	+241
当期純利益(△純損失)	△264	△6.4%	0	0.0%	—	+264

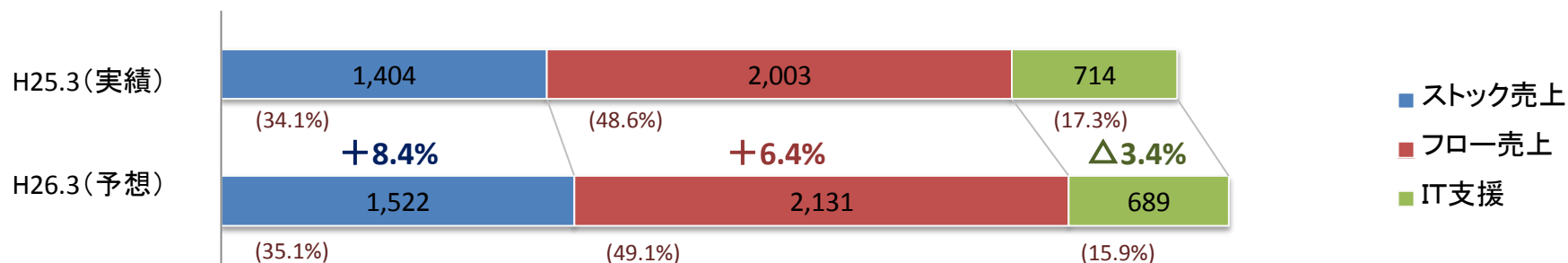


## 通期の予想 (H25.3期比較)

- » 収益構造改革の進展等により、**売上高が5.4%増加の見込み**
- » コスト構造改革の進展等により、**営業費用は4.4%減少の見込み**
- » 結果、H25.3期と比較して損益が大幅に改善し、**営業利益以下の各区分利益が黒字転換する見通し**

# サービス別売上高予想(通期)

【単位:百万円】	H25.3通期 (実績)	構成比	H26.3通期 (予想)	構成比	対前期 増減率	対前期 増減額
ホームページソリューション	3,407	82.7%	3,653	84.1%	+7.2%	+246
ストック売上	1,404	34.1%	1,522	35.1%	+8.4%	+118
フロー売上	2,003	48.6%	2,131	49.1%	+6.4%	+128
IT支援	714	17.3%	689	15.9%	△3.4%	△24
売上高	4,121	100.0%	4,343	100.0%	+5.4%	+221



## 通期の予想 (H25.3期比較)

- » ストック売上の比率の高い新商材の契約顧客アカウント数の増加等により、**ストック売上が8.4%増加の見込み**
- » 営業生産性の向上等により、**フロー売上也6.4%増加の見込み**
- » 結果、IT支援はほぼH25.3期と同水準の見込みであるため、**売上高は5.4%増加する見通し**

## 営業費用予想(通期)

【単位:百万円】	H25.3通期 (実績)	売上比	H26.3通期 (予想)	売上比	対前期 増減率	対前期 増減額
売上原価	1,136	27.6%	1,109	25.5%	△2.4%	△27
人件費	2,144	52.0%	1,987	45.8%	△7.3%	△156
地代家賃	236	5.7%	236	5.5%	△0.1%	△0
旅費交通費	208	5.0%	205	4.7%	△1.2%	△2
その他販管費	812	19.7%	799	18.4%	△1.6%	△13
販管費	3,402	82.5%	3,229	74.3%	△5.1%	△172
営業費用	4,538	110.1%	4,338	99.9%	△4.4%	△200

### 通期の予想 (H25.3期比較)

- » H25.3期以前に取り組んだコスト圧縮の効果が通年で発揮されることに加え、H26.3期においても引き続きコストのコンパクト化を進めることにより、**販管費が5.1%減少する見込み**
- » 結果、売上原価はほぼH25.3期と同水準の見込みであるため、**営業費用は4.4%減少する見通し**

お問い合わせ

株式会社アイフラッグ 経営管理部 (IR担当)

Tel 03-5733-4492

Mail ir@iflag.co.jp

IRインフォメーション

アイフラッグ IRページ

<http://www.iflag.co.jp/ir.html>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が入手している情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により、本資料に記載されている情報と大きく異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられる情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料の業績見通し等のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。

# 補足資料

# 平成26年3月期 業績予想(半期別)

【単位:百万円】	H26.3上期 (予想)	売上比	対前期 増減率	H26.3下期 (予想)	売上比	対前期 増減率
売上高	2,137	100.0%	+3.9%	2,206	100.0%	+6.9%
売上原価	545	25.5%	△5.4%	563	25.6%	+0.6%
売上総利益	1,592	74.5%	+7.5%	1,642	74.4%	+9.2%
販管費	1,634	76.4%	△9.4%	1,595	72.3%	△0.2%
営業利益(△損失)	△41	△2.0%	—	47	2.1%	—
経常利益(△損失)	△38	△1.8%	—	50	2.3%	—
当期純利益(△純損失)	△44	△2.1%	—	44	2.0%	—

# サービス別売上高予想(半期別)

【単位:百万円】	H26.3上期 (予想)	構成比	対前期 増減率	H26.3下期 (予想)	構成比	対前期 増減率
ホームページソリューション	1,812	84.8%	+4.8%	1,841	83.5%	+9.7%
ストック売上	736	34.5%	+8.7%	785	35.6%	+8.1%
フロー売上	1,075	50.3%	+2.3%	1,055	47.8%	+10.9%
IT支援	324	15.2%	△1.3%	365	16.5%	△5.3%
売上高	2,137	100.0%	+3.9%	2,206	100.0%	+6.9%

※1:ホームページソリューションは、旧商材ITパッケージと新商材クラウドパッケージの売上高を示します。

※2:ストック売上は、ホームページソリューションのうち、サービス料(月額課金)の売上高を示します。(前期・当期ともに、旧商材と新商材の売上です。)

※3:フロー売上は、ホームページソリューションのうち、初期導入費用(導入初月に一括計上)の売上高を示します。(前期・当期ともに、新商材の売上です。)

※4:IT支援は、ヤフー商材、WEB広告、WEB制作及びその他の売上高を示します。



# 営業費用予想(半期別)

【単位:百万円】	H26.3上期 (予想)	売上比	対前期 増減率	H26.3下期 (予想)	売上比	対前期 増減率
売上原価	545	25.5%	△5.4%	563	25.6%	+0.6%
人件費	1,008	47.2%	△12.5%	979	44.4%	△1.3%
地代家賃	118	5.5%	+0.1%	118	5.4%	△0.3%
旅費交通費	104	4.9%	+0.4%	100	4.6%	△2.8%
その他販管費	402	18.8%	△6.1%	397	18.0%	+3.4%
販管費	1,634	76.4%	△9.4%	1,595	72.3%	△0.2%
営業費用	2,179	102.0%	△8.4%	2,159	97.9%	△0.0%

## 業績及び経営指標の推移

【単位：百万円】	H21.3 (実績)	H22.3 (実績)	H23.3 (実績)	H24.3 (実績)	H25.3 (実績)	H26.3 (予想)
売上高	18,420	9,840	7,006	4,851	4,121	<b>4,343</b>
経常利益	△741	△414	109	△1,050	△229	<b>12</b>
当期純利益	△9,547	△958	261	△1,367	△264	<b>0</b>
営業活動におけるキャッシュフロー	△13	229	857	△897	△110	<b>N/D</b>
現金及び現金同等物の期末残高	3,411	2,112	3,136	2,066	1,323	<b>N/D</b>
純資産	3,594	2,656	3,747	2,399	2,145	<b>2,145</b>
流動比率	75.7%	150.4%	295.0%	148.9%	198.4%	<b>N/D</b>
有利子負債	3,720	500	0	500	0	<b>0</b>
グループ会社合計	11社	2社	4社	4社	4社	<b>4社</b>
従業員数	1,074人	732人	604人	455人	357人	<b>368人</b>

# 株主構成

株主セグメント	平成24年3月末現在				平成24年9月末現在				平成25年3月末現在			
	株主数 (人)	構成比 (%)	株式数 (株)	構成比 (%)	株主数 (人)	構成比 (%)	株式数 (株)	構成比 (%)	株主数 (人)	構成比 (%)	株式数 (株)	構成比 (%)
政府及び地方公共団体	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
銀行・信託銀行	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
生保・損保会社	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
その他金融機関	2	0.02	6,530	0.84	2	0.02	5,268	0.68	2	0.02	14,529	1.87
証券会社	12	0.13	5,444	0.70	12	0.13	6,359	0.82	14	0.17	8,866	1.14
その他法人	77	0.82	294,448	37.88	75	0.83	294,284	37.86	69	0.82	293,098	37.71
外国法人等	22	0.23	2,531	0.33	21	0.23	3,091	0.40	18	0.21	835	0.11
個人・その他	9,251	98.78	467,519	60.15	8,906	98.77	467,470	60.15	8,303	98.76	459,172	59.08
自己株式	1	0.01	748	0.10	1	0.01	748	0.10	1	0.01	748	0.10
合計	9,365	100.00	777,220	100.00	9,017	100.00	777,220	100.00	8,407	100.00	777,248	100.00

大株主	10	0.11	483,012	62.15	10	0.11	483,958	62.27	10	0.12	498,487	64.13
浮動株式	9,360	99.95	610,336	78.53	9,012	99.94	610,336	78.53	8,402	99.94	610,364	78.53
特定株	13	0.14	483,874	62.26	13	0.14	484,820	62.38	13	0.15	499,349	64.25

※浮動株式 役員持株、主要株主及び自己株式を除いた株主数及び株式数  
 ※特定株 大株主、役員持株及び自己株式を合計した株主数及び株式数